

壁の中燃える！

事例No.104



気付いた時には火は壁の中～低温着火～

【火災概要】 防火構造2階建店舗で1階厨房壁内から出火し、小屋裏まで延焼した建物火災です。



↑ タイル及びこんろ等を取り除いた状況



↑ こんろと内壁の近接状況

【出火原因】

本件火災は、都市ガスこんろの火がタイル貼りの壁に近接している状態で長年使用していたことで壁の中のベニヤ板まで熱が伝わり徐々に炭化し、壁の中から出火したものです。

【低温着火】

木材が長時間、熱や輻射熱等にさらされると、炭状態となります。この状態で 100℃前後になれば出火する可能性があります。(木材の一般的な発火温度は 400～450℃) 壁内など目に見えない所で出火すると被害が大きくなります。

【類似火災の防止対策】

- ・こんろと壁との間は 15 cm 以上距離をあける。
- ・こんろと壁の間に遮熱材等を設置し熱が伝わらないようにする。



★こんろ等を使用していないのに壁から熱を感じるなど異変があれば



直ぐに 119 番通報してください。

枚方寝屋川消防組合 警防部 警防課 指揮支援・調査隊